

はろば シルバー 人材センター

令和5年(2023年)
夏号 No.131



もくじ

- 丸本職員に聞く(派遣担当として)/理事会だより ... 2
- 定時総会報告/新任理事あいさつ/..... 3
韓国シルバー団体と交流/
インボイス制度今秋スタート
- ホタルの夕べ/みなみ地域フェスティバル/ 4
玉櫛 SL まつり/茨木フェスティバル/
こども食堂/春の清掃活動
- 安全・適正就業通信/熱中症対策/ヘルメット助成/ 5
入会説明会
- ひろば/会員一泊研修旅行/秋の奉仕活動/ 6
太田まつり/玉櫛まつり/新人職員紹介/編集後記

夏の強い陽射しに
ひまわり
立ち向かう 向日葵
(万博公園)

写真 倉谷 啓司氏(会員) 提供

silver

派遣事務担当

丸本 宙^{そら}さんを直撃インタビュー！



入職3年目を迎え、派遣業務をメインに新入会員入会説明会・イベントの司会などで大活躍。今春、全ての業種に対応できる第一種衛生管理者免許を取得。この資格を今後のシルバー活動・イベントに生かす予定。

派遣業務の拡充を目指して！

——まず派遣業務とは？

丸本 会員さんが派遣先の指示命令に従って従事するお仕事です。入職当初から、新規受注、会員さんへの就業案内、請求処理まで、派遣に関わる一連の業務を担当しています。

2年前はコロナ禍であり、通常業務に加え、イレギュラーな業務も発生し、目の前の業務をこなすのに精一杯でした。

——それらを乗り切れたのは？

丸本 周囲の方々の協力や援助があったおかげです。発注業者さまから新規のご依頼を多くいただけたことも励みとなりました。

——最近の契約の傾向は？

丸本 保育補助や調理補助の受注が増加しています。

一件でも多く、発注者さまと会員さんの橋渡しができるよう、尽力していきたいと思っています。

——今後の派遣事業について。

丸本 諸経費に基づく支出増加のため10月に派遣手数料の改正を予定しています。発注者さまに理解を求め、交渉を進めています。理解を得るのはとても難しいこともあります。ありますが、最後までやり遂げたいと思っています。

——苦手なことはありますか？

丸本 社会人になる前は、人前で話すことが大の苦手でした。そんな私が、入職早々からイベントの

司会や入会説明会の担当を任せられることになり、当初は不安でいっぱいでした。最近自分なりに楽しみながら、司会等を進めることができるようになりました。振り返ると最初の頃は緊張の連続だったことを思い出します。

資格を生かして会員さんに貢献

——2年間で得られたものは？

丸本 苦手なことと向きあうのは辛いのですが、苦手なことに取り組みことで自分の殻を破り、前に進むことができました。経験を積むことが、いかに大切かと実感しています。

——今後について。

丸本 会員の皆さんの健康と安全を支援することを目的とし、第一種衛生管理者の免許を取得しました。具体的な活動としてシルバー広報誌春号「健康と安全就業に関するアンケート」を全会員さん対象に実施しました。回答にご協力いただきありがとうございます。

アンケート結果をもとに、健康に関するイベントを年内に企画計画中です。

——最後にひとこと。

丸本 今後も会員の皆さんを、全力でサポートできるよう努力したいと思っています。

(聞き手 後藤政市・井川恵子)

理事会だより

令和5年度第1回理事会が4月21日に開催されました。

▼議案

- 令和4年度第2次補正予算(案)
- 令和4年度事業報告(案)
- 令和4年度収支決算(案)
- 令和4年度業務および会計監査について
- 令和5年度定時総会の招集事項の決定について
- 損害賠償保険契約の内容について

以上の事項が審議、承認されました。

▼報告事項

- 役員候補者について
 - 事務局電話機の自動録音機能活用について
 - 諸般の報告
 - 正会員の入会について
 - 特別会員の入会について
- ▼その他
- 年間行事予定表について等
 - 職員の人材確保と給与の賃上げについて

いよいよ本格的な夏を迎え、暑い日が続いております。

熱中症や感染症に十分注意し、健康と安全に気をつけて乗り切りましょう。
(綾目慶子)

令和5年度 定時総会開催される

会員の健康を最優先に。
地域に対する支援・発展等
へ積極的に寄与する運営。

令和五年度の定時総会が、6月2日、茨木市市民総合センターで開催されました。今回も、会員の皆さまやご家族の健康と安全を守るため、集団で集まるリスクを避け、高齢者団体としての責任と自覚に基づき、引き続き委任状または書面による決議権の行使を認め、役員以外の方の会場への参加は極力控えていただきました。

当日は、委任状・議決権行使書を含め、出席議決権数が総会成立要件



定時総会風景

定時総会議長を経験して

みすとしひさ
翠 壽久

定時総会の議長を務めるにあたり、総会資料を事前によく読んで臨みました。総会での事務局からの説明で「なるほど!」とセンターの活動を理解するよい機会となりました。皆さんも総会資料に目を通してみてください。理解が深まると思います。

件を満たしていることを確認。提出された4年度事業報告・収支決算・役員選出の3件の議案は、いずれも原案通り可決されました。また4年度補正予算、5年度事業計画・収支予算について報告されました。
(宮野正)

新理事のあいさつ

◆微力ながら尽力します



西村 宏史
茨木商工会議所
理事・事務局長

この度は、理事に選任していただきありがとうございます。商工会議所も地域に貢献する組織として、できることは微力ながら尽力させていただきますので、どうぞよろしく願います。

・趣味 ゴルフ

理解しておこう インボイス制度

この10月からインボイス制度が始まるにあたり、会員の皆さんに理解しておいていただきたいことがあります。以下に簡単にまとめてみました。

ほとんどの会員の方は消費税の納税義務が生じない免税事業者です。そのため、これまで配分金に含まれる消費税相当額を会員の方が納税する必要はありませんでした。ところが新制度の下では、それまで会員の方が免税とされてきた消費税を、免税事業者(すなわち会員)との取引相手(すなわちセンター)が負担する仕組みに変更されます。その結果、センターが納める消費税が増加することになります。

会員の方がインボイス発行事業者の登録申請をし、インボイス発行事業所番号をセンターに通知すれば、センターの負担は軽減されますが、会員には納税義務が生じるうえ、毎年消費税の申告納税を行わなければなりません。申告納税を行うには、税理士への相談も必要で、大きな負担になります。結局、会員さんにとって実質的に収入減となってしまいます。そのことを考慮して、センターでは会員の方にインボイス発行事業所登録を求めないこととしたのです。

今後も制度の変更により、センターと会員を取り巻く環境が大きく変化するかも知れません。会員、事務局がそれぞれの役割を全うし、変化する時代を乗り越えていきましょう。

(宮野正)

韓国からシルバー視察団来訪

シニア活動の在り方で意見交換

春の奉仕活動が行われた6月21日、韓国でシルバー活動を担う大韓老人会の視察団一行13人が当センターを来訪、シニア活動の在り方について活発な意見交換を行いました。韓国では、ボランティアが主体で、活動で収入を得ることはなく、我が国のシルバーのシステムは画期的といい、そうしたことが縁で交流が実現したものです。

元来、儒教の国として、年長者を敬う考え方が強い韓国ですが、昨今は猛烈な勢いで少子高齢化が進行。核家族化など家族構成の変貌もあって、高齢者を取り巻く経済環境は厳しさを増しているといえます。その結果、日本のシルバー制度は韓国の高齢化社会にとり、示唆に富んだものとなっています。

一行はこの日、センター独自事業のそば処



センター前にて韓国視察団一行と

「茨木」で、自慢の手打ちそばに舌鼓を打つなど、日本のシルバーの実情に触れる、有意義な一日となりました。

(川野正照)

地域啓発行事

「ぼたるのタベ」 癒しの世界に延べ千人超!!

6月8日〜11日にセンター大会議室で「ぼたるのタベ」を開催。

4日間で、昨年を上回る1109人の来場者がありました。

暗闇の中、用意した350匹のゲンジホタルのほのかな明かりを楽しみました。狭い空間でしたが幻想的な光の世界に、連日、会場には「感動した」、「懐かしい」などの歓声が方々より聞こえてきました。また、飼育経験者の会員さんによるガイドも「説明が丁寧」「勉強になった」と好評でした。

地域の多くの私たちのステキな



ガイドの説明に耳を傾ける来場者

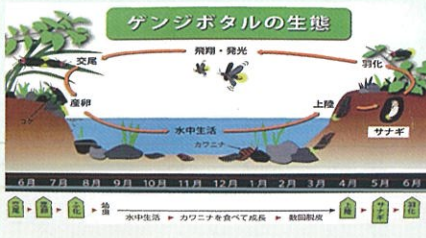
自然の大切さに触れた一日!

最近、目にすることが少なくなった蛍のイルミネーションを一目見ようと会場を訪れました。

暗闇の静寂の中、発光しながらホタルの飛び交う様は幻想的で本当に癒されます。10年前まで米原市の工場に勤務していましたが夕闇の中、電車を待つ間に同僚らとホタルの乱舞をよく眺めていました。仕事の疲れを忘れさせてくれていたことを思い起こしました。

茨木近郊の小川はヘドロの堆積が進み、餌のカワニナが激減、ホタルの生息に影響を及ぼしているとガイドの説明を受けました。

また、今回のホタルは埼玉から取り寄せたと聞き、自然の大切さを改めて考えさせられた一日でもありました。(後藤政市)



【アンケート調査】

1. 鑑賞会参加者(人)

こども	大人	合計
423	686	1109

2. 感想

- ・ホタルを見て感動した。
- ・ホタルの生態を知ることができ勉強になった。
- ・ホタルに関する説明がわかりやすかった。

3. 希望・要望、意見

- ・室内での鑑賞だったので、導線がわかりにくかった。
- ・暗すぎて目が慣れず、足下が危ない気がした。
- ・飼育ケースを大きくしてほしい。
- ・ホタルの数が少なかった。

(事務局長談) 鑑賞会に来られた方に自然の尊さをお伝えできたら良いなとの思いで会員の方がボランティアで説明会を開催してくれました。その思いが少しでも「伝われば」と思います。

J-COMのWEEKLYトピックス
で6月24日〜30日に放送!

交流の場になりました。(田中美弥子)

沢良宣浜公園

茨木みなみ地域ふれあい まちづくりフェスタに参加!

5月28日開催のフェスティバルに参加、ボランティア会員の協力でポシ菓子を作りました。

できる時のボンという爆音と、出来たての配布に、子供たちも大人も大喜びでした。コロナで自粛していた飲食の出店、ステージでの出し物も復活し、久々の自粛ムード無しのフェスタに大盛り上がりでした。(大垣真知子)



フェスタ風景

普及啓発&地域貢献

「玉櫛SLまつり」

6月4日開催の「玉櫛SLまつり」に参加し、子どもたちにポシ菓子を約300個と保護者にポケットマスク等が入った啓発グッズを約1000セット配布しました。

晴天に恵まれ、子どもたちの笑顔のありがとがまぶしく、爽やかな心地良い楽しい一日を地域の方と共に過ごしました。(松本一美)



まつりの風景

茨木フェスティバル
(開催:7月29日~30日)

「啓発うちわ」
配布!

春の清掃奉仕・普及啓発 活動を実施! 6月21日(水)

清掃には絶好の天気にも恵まれて、108人の会員参加のもと、センター事務所北側の児童遊園を起点に周辺道路と元茨木川緑地の清掃、草引き、側溝の泥上げを額に汗しながら頑張っておられました。

ご多忙の折、福岡茨木市長にも駆けつけていただき、労いのお言葉をいただきました。

地域に根ざした活動はセンターをアピールする大切な機会です。今回参加できなかった方も次回は、ぜひご参加ください。(伊澤正喜)



センター近辺での清掃活動

子ども食堂だより

うれしいご報告を2件。

▼5月にじゃがいもと玉ねぎのご寄贈があり、ポテトサラダを作りました。「おいしかった」と、レシピを尋ねてくるママもおられました。

▼食べられるものはすべて使い切ることを意識して調理していますが、毎回ほぼ完食していただき、フードロスや、後片付けの時間削減につながっています。

「おいしかった」の言葉を励みに、今後も頑張ります。

(ボランティアスタッフ一同)



食事中の様子

熱中症にご注意を!!



熱中症の予防のために

- ① 室内では、扇風機やエアコンで温度を調整。
遮光カーテンやすだれを使用。
- ② 屋外では、帽子の着用や日傘などで、直射日光をさえぎる。
日中の高温時に外出することはできるだけ控える。
- ③ 暑さ指数を小まめにチェックし参考に。
暑さ指数を小まめにチェックし参考に。
- ④ 小まめに水分補給を。喉が渇いてなくても飲み物しつかり。
電解質が含まれるスポーツ飲料が、水や麦茶に比べ、より効果があります。
- ⑤ 日頃から健康管理のため、無理のない範囲で運動を。
熱中症対策のため、事務局よりアクエリアスのパウダーをお届けしました。ご活用ください。

高齢者の方は特に「ご注意を！」

- ・体内の水分量が少ない。
- ・暑さを感じにくい。
- ・喉の渇きに気づきにくい。
- ・水分を控えがちなどで他世代に比べ、熱中症になりやすいので「ご注意ください」。

発生状況 (令和5年4月～令和5年7月)

発生日	職種	区分	事故発生状況	性別
4/12	駐輪場管理	途上	学生の自転車と接触し転倒。右くるぶしを骨折。	男
4/26	独自そば	途上	雨が降っていたため自転車で転倒。右足靭帯を損傷。	男


(伊澤正喜)

安全・適正就業通信

安全就業の心得
守ろう10カ条

- ① 日頃から健康管理
《定期的に健康診断を!》
- ② 身体機能の低下を十分に認識
- ③ しつかり睡眠
- ④ 作業に適した服装
- ⑤ 始業前には、準備体操
- ⑥ 作業に必要な道具類は、必ず事前点検を
- ⑦ 時間も心も余裕をもって
- ⑧ 身の回りは、常に整理整頓
- ⑨ 仲間との合図・連絡・安全確認の徹底
- ⑩ 行きも帰りも仕事のうち。交通安全を心がける

ヘルメットの着用を再度費用助成!



本年4月1日からヘルメット着用の努力義務がスタートしました。当センターとしては、就業先への移動手段として自転車を推奨。

入会説明会 山口職員に聞く

4月から新会員100人超誕生!

毎年策定される事業計画で、シルバー活動の源泉となるのが「会員の拡大」と「就業の増大」です。それには認知度の向上が不可欠で、市広報誌への掲載、講演会やイベントなどの独自企画、地域の催しへの参画など多彩な啓発活動が行われていきます。そして、会員拡大の最後の一押しが入会説明会です。コロナ禍も落ち着きをみせる今年度から、アクセスのよいサポートセンターが加わりました。JRと阪急を結ぶ目抜き通りの立地は絶大で、参加者はセンターと合わせ、月平均30人に上ります。



担当の山口さんは就業コーディネーターと民間企業を兼任。接客業務キャリア40年のベテランです。「参加者にお願ひすることはいつも同じ。特に、自主・自立・共働・共助」は

しています。そのため、施行前の3月に一部助成を実施し、約4割の会員からヘルメット購入の申し込みがありました。

今回一人でも多くの会員に着用していただけるよう、再度ヘルメット購入費用の一部助成を実施しています。

(宮崎俊夫)

「説明が分かりやすい、と言われるとひと安心です。ただ理解してもらえたか」となると、「うーん...」。そこでトラブルの実例や就業の実態など具体例を交えます。結果、現状は入会率9割、就業率7割をキープ。

4～6月で102人もの新会員が誕生しました。山口さんいわく、「会員の皆さん、知人、友人のご紹介、お待ちしてまーす!」

(川野正照)



サポートセンター2Fでの説明会

皆さんの仲間
(会員数)

6月30日現在	
男	1,066人
女	557人
計	1,623人



新職員 花房祐紀

アイパッド
(ipad)
を使って描いた絵



会員 浅川八重子

絵手紙

ひろば



事務局だより

新人です。よろしく!!

花房祐紀です。

4月に入職しました。前職では、企業の受付をしていました。総務・経理を担当させて頂いていただきます。不慣れな点も多くご迷惑をおかけしますが、精一杯がんばりますのでよろしくお願ひします。絵を描くことが好きで、ipadでイカの絵を描きました。

安井浩子です。

7月に入職しました。前職では、商業施設のインフォメーションをしていました。たくさんの人たちと関わることや話をするのが好きなので、シルバー人材センターでもたくさんの方たちと関わっていきたいと思います。2人の子どもを育てており、毎日楽しく過ごしています。センターにお越しになった際には、どうぞよろしくお願ひします。

前田梨奈です。

7月に入職しました。まずは早く会員さんのお顔や仕事を覚えることが目標です。ゆくゆくは、こども食堂などを通して子育て世代への支援に力を入れていきたいと考えております。これからよろしくお願ひします。

お知らせ

会員研修一泊バスツアー

他市シルバーセンターの見学研修及び会員相互の交流・親睦を目的とした研修一泊バスツアーを実施します。

- 実施日 11月28日～29日
 - 行き先 伊丹市シルバー人材センター及び湯村温泉など
- ※詳細は別途配布のチラシで。

秋の奉仕・普及活動に参加を!!

当センターでは、毎年春と秋に清掃奉仕活動と普及啓発活動を実施しています。

- 清掃奉仕活動
シルバー会員以外の人にも関心を持ってもらい、地域の環境をみんなで再認識していただきます。
- 普及啓発活動
チラシ配布を行い、当センターの事業内容を広く、多くの人に知ってもらう「きっかけ」を提供します。

● 実施日 10月18日(水)
※詳細は別途配布のチラシで。



地域と連携・催事に参画し
シルバー事業をアピール

行動制限がとれた今年の夏。各地で夏まつりが開催されています。シルバーでは、太田・玉櫛地区のおまつりに参加。地域の人たちとの交流を通して、センター事業の普及活動を目指します。

- 太田ふるさとまつり2023
- 日時 8月5日(土)
- 場所 太田小学校グラウンド
- 玉櫛まつり
- 日時 8月18日(金)・19日(土)
- 場所 玉櫛小学校グラウンド

編集後記

昨年の夏号から広報誌作成に関わり早や一年。皆さんに助けられながら何とか時が過ぎました。

広報の作成は企画から始まり、原稿依頼、校閲、割付、そして3度の校正など、何度も集まって出来上がります。一人でも多くの方に読んでいただけたらうれしいです。

いくつになっても新しいことに挑戦する楽しさを、これからも大切にしたいと思ひます。

11月にはコロナ後、久しぶりに一泊研修旅行も予定されています。皆さんのご参加をお待ちしています。
(岩井洋子)